

横浜市 緑園東小学校 平成26年度版 中期学校経営方針 (平成25年4月～平成28年3月)

学 校 概 要

創立：平成2年4月1日 校長名：副島江理子 副校長名：本田 昌彦 学級数：16クラス 児童数：440名
職員数：28名 小中ブロック校名：岡津中学校・岡津小学校・緑園西小学校・上矢部小学校

学 校 教 育 目 標

笑顔いっぱい やる気いっぱい 地域に育つ 緑園の子

- (知) 自分の思いをもち、自分の力で積極的に学び続ける子を育てます。
- (徳) 規範意識をもち、自分も相手も大切に、自信と思いやりのあふれる子を育てます。
- (体) 生命を尊ぶ気持ちをもち、自らの健やかな体をつくる子を育てます。
- (公) 学校や地域に親しみ、まちの一員として積極的にかかわる子を育てます。
- (開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、広い視野をもち、世界とつながろうとする子を育てます。

学 校 経 営 中 期 目 標

- (1) 子ども一人ひとりが安心して、楽しく通う学校をつくります。
「子ども一人ひとりが自分の思いをもち、豊かに人と関わり、さらに自分を高めていける学校にします。」
- (2) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。
- (3) 学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくります。

**学校経営
中期目標
設定理由**

本校の子どもたちは市の学習状況調査を見ると学力層A群が多い反面、D群も一定数存在し、学力の二極化が見られます。また、学力が高くて意欲が低い、規範意識や自己肯定感が低い等の傾向が見られます。子ども一人ひとりが自分の思いをもち、相手の思いも尊重しながら、様々な場で豊かに伝え合い、実際に行動していくことができれば、自己肯定感や有用感ももてるようになり、自分をよりよく高めていく力が育つと考えます。また、一人ひとりの学習状況に合った学習支援が行われることで安心感も生まれると考えます。そのためには本校の児童の実態に合った学習や生活の在り方を学校として追求し、全職員が指導の工夫・指導力向上をめざし、協同して子どもたちを育てていきます。また、保護者・地域の方々の教育力を活かすことにより、体験的な活動を通して地域との関わりが増し、地域を大切にする気持ちも育成できると考えます。

小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

共通目標	様々な人とのコミュニケーションを大切にしながら自分らしさを発揮し、地域の中で心豊かに生きる児童生徒を育てます。 ・小中のなめらかな接続をめざした小中連携 ・体験を通しての児童生徒交流
自校の取組	子どもたちが安心して中学校に進学できるよう、小中合同授業研究会、児童中学校訪問、部活動体験、中学校教諭のワンショット授業、生徒会小学校訪問、6年担任との情報交換を実施します。

共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
子どもたちが思いをもち、互いに認め合い、学習を深めていけるような主体的学習を追究し、確かな学力とコミュニケーション能力を育てます。児童の実態把握に努め、実態(学力の2極化、意欲や主体性が低い等)に基づいた指導の在り方をさらに探っていきます。	子どもたちの主体的な活動を中心として、自分も相手も大切にする心を育てる取組をさらに充実・発展させます。道徳・人権教育のさらなる充実を図り、実際の生活に生かしながら、お互いを尊重し、まちを愛する子どもを育てます。	年間を通して「なわとび」を生かした体力向上を図ります。新体力テストの結果を踏まえ、実態や児童の問題意識をもとに取組を考え、学校保健委員会での話し合いを核として児童自身による健康的な生活に向けての取組を進めます。

重 点 取 組 分 野

4 教育課程・学習指導	5 特別支援教育	6 地域連携	7 研修・研究
市学状等をもとに学力向上プランを作成し、児童の実態に合った取組を工夫し、基礎基本の定着の徹底と思考力・判断力・表現力のさらなる育成をめざします。 国語を中心とし、全教科での学校司書連携充実を図り、資料を有効活用しながら自ら課題を解決する力の育成をめざします。 「横浜の時間」のカリキュラムを見直し、充実を図っていきます。 外国との交流活動について取組を発展させ、カリキュラムに生かしていきます。 毎時間の評価を生かした授業づくりに日常的に取り組めるようにします。	支援を必要とする児童に寄り添った教育ができるよう、校内支援システムの充実を図り、常時、支援のあり方を検討していきます。 取り出し指導の一層の充実や学校全体でのユニバーサルデザイン化の推進を図ります。個別支援学級では、保護者との共通理解のもと、個別教育支援計画を作成し学習を進めます。互いの違いを認め合えるように、全児童の相互理解を深めるようにします。	学校・学年だより、ホームページを充実させます。 栽培体験活動・読み聞かせ・クラブ活動等で、学校教育ボランティアの教育力を活用します。 地域行事に積極的に参加し、子どもも地域参画意識を向上させます。そのために活動の一層の充実・発展と本校だけでなく西小会場での地域行事参加を促します。 地域と連携して、児童の安全見守りを強化します。	授業をとまなう校内重点研究の充実を図り、授業力や学級経営能力の向上を目指し、授業改善につなげます。 人権、児童理解、特別支援、メンター研修等、さまざまな研修に取り組み、教職員の意識や指導力の向上に努めます。

人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

校内重点研究で授業力の向上をめざすと共に、進んで他校の研究発表会に出向き研鑽を積みます。
教職員の数が減ることを踏まえて、四部会、教務部を中心としたチームによる学校運営、学年を超えた複数学年による協力体制等、学年2クラス体制の新しい学校運営の在り方を工夫していきます。